

科目名称	特別演習Ⅱ					ビジネス・キャリア		(必)	オフィス情報	(必)
英文科目名称	Student Advisor Seminar Ⅱ					グローバル・コミュニケーション		(必)	医療事務・医療秘書	(必)
科目コード	590145	授業形態	演習	単位数	2					
教員氏名	国際教養学科全教員		年次配当	2年次	通年	ホテル・観光		(必)	大学編入	(必)
実務経験教員担当	(有)・無		アクティブラーニング			(有)・無				
授業概要 及び授業方法	<p>現代人には、世界標準としての知的生産能力である「21世紀型スキル」が求められている。とりわけ、①相手の発言に耳を傾け、証拠や論理、感情を的確に理解して解釈する力、②相手の考えだけでなく、自分の考えに誤りや偏りがなければ振りかえる力が重要である。本科目では、「特別演習Ⅰ」に引き続き、論理的・分析的に考える力を育成しつつ、社会的常識、読解力、コミュニケーション力を養成する。それらを通じ、生活に必要な情報を正しく読み取り、人に正確に伝え、考えの異なる人の意見に耳を傾けつつ、多様な人々と協働する力と、責任感を持って自律的に社会に関わり、倫理的・道徳的判断を行い、社会的課題を改善する意識を養う。さらに、社会的課題を地球規模の視点で捉え、ダイバーシティが進む社会の一員として責任のある行動がとれる力も育成する。</p> <p>また、「特別演習Ⅱ」は学生が有意義な短大生活を送れるよう支援し、社会人になるにあたって意識を高めるための指導・助言をするための授業である。したがって、本授業では①本学の建学の精神やディプロマ・ポリシーの理解、②社会人としての教養の養成、③教員との交流を通じたコミュニケーション能力の向上等もその目的としている。</p>									
関連する科目	特別演習Ⅰ					卒業認定(学習成果)との関連		①, ②, ③, ④, ⑤, ⑥		
授業計画	<p>(前期) ※敬称略</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1年次の学びの振り返りとカリキュラム・デザインの修正 (コース・アドバイザー)</li> <li>1・2年生合同就職セミナー (卒業生講演)</li> <li>おもてなしとビジネスマナー (柚木崎)</li> <li>世界の中の日本語 (田中)</li> <li>就職活動に向けたキャリア・デザイン (コース・アドバイザー)</li> <li>社会科学を学ぶ一会社を知ろう (土田)</li> <li>生活情報の知識と活用：書類の発送・貯金・保険 (林)</li> </ol> <p>(後期)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>eビジネスの時代 (山本)</li> <li>教養講座 (第1回)</li> <li>1年生との交流 (コース・アドバイザー)</li> <li>社会学系のトピック (予定)</li> <li>教養講座 (第2回)</li> <li>なぜ「日本人としての誇り」が必要なのか (横堀)</li> <li>新しい角度から見る「英単語」 (水島) ←回の変更の可能性あり</li> <li>2年間を振り返り、生涯発達の視点でキャリアをデザインする (コース・アドバイザー)</li> </ol>									
授業時間外の学習	<p>【予習】各授業を受講する前に授業のテーマを確認し、そのテーマについて調べておくこと。 コース・アドバイザーの授業に関しては、担当教員の指示に従うこと。</p> <p>【復習】授業を通じて考えたことについて、600～800字程度のレポートを作成する。(2時間程度)</p>									
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 相手の立場に立って自分の考えを述べ、積極的な姿勢で相手の話を聴くことができる。</li> <li>② 多様な背景を持つ人とコミュニケーションをはかることができる。</li> <li>③ 情報を鵜呑みにせず、自分で調べたりなどして、その真偽を確認することができる。その上で情報を自分で分析し、その結果に基づいて自分の考えを述べることができる。</li> <li>④ 社会の一員としての自覚を持ち、世の中の事柄を世界との関係の中で考えられるようになる。自分の行動が世界に影響を及ぼすことが理解できる。そして、社会の一員として課題改善に向けて関わることができる。</li> <li>⑤ 将来あるべき姿を思い描き、それに向けて一歩ずつ努力して前進し続けることができる。</li> <li>⑥ 職業を通じて社会に貢献する方法を考え、実践に向けて取り組むことができる。</li> </ol>									
課題に対するフィードバック	フィードバックは各回の担当教員が受講した学生に対して与える。					評価方法・基準		<p>【オムニバス授業：全8回】</p> <p>①ふりかえりシート : 20%</p> <p>②授業貢献度 : 10%</p> <p>③ふりかえりレポート : 40%</p> <p>【コース・アドバイザーによる活動：全4回】</p> <p>①ふりかえりシート : 10%</p> <p>②授業貢献度 : 5%</p> <p>③課題・発表 : 15%</p>		
テキスト	必要に応じて指示する。									
参考書	随時、授業で紹介する。									
備考										